

○土地改良事業用地調査等請負業務事務処理要領 新旧対照表

(下線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>別記（Ⅰ）用地調査等業務共通仕様書</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(用語の定義)</p> <p>第2条 (略)</p> <p>(1)～(46) (略)</p> <p>(47)「建物要領」とは、中央用対が定める建物移転料算定要領(案)をいう。</p> <p>この場合において、建物要領第1条及び別記曳家移転料算定要領第1条中「基準細則」とあるのは「運用方針」と読み替えるものとする。</p> <p>(48)～(53) (略)</p> <p>第3条～第13条 (略)</p> <p>(関係官公庁への手続等)</p> <p>第14条 受注者は、用地調査等業務の実施に当たっては、発注者が行う<u>測量法に規定する公共測量に係る諸手続等</u>、関係官公庁等への手続の際に協力しなければならない。</p> <p>また、受注者は、用地調査等業務を実施するため、関係官公庁等に対する手続が必要な場合には、速やかに行わなければならない。</p> <p>2 (略)</p> <p><u>3 受注者は、測量法第21条(永久標識及び一時標識に関する通知)、第23条(永久標識及び一時標識の移転、撤去及び廃棄)、第36条(計画書についての助言)、第37条(公共測量の表示等)、第40条(測量成果の提出)等の届出に必要な資料を作成し監督職員に提出しなければならない。また、測量作業規程第14条に基づく測量成果の検定を行わなければならない。</u></p> <p>第15条～第55条 (略)</p> <p>(転写連続地図の作成)</p>	<p>別記（Ⅰ）用地調査等業務共通仕様書</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(用語の定義)</p> <p>第2条 (略)</p> <p>(1)～(46) (略)</p> <p>(47)「建物要領」とは、中央用対が定める建物移転料算定要領(案)をいう。</p> <p>この場合において、建物要領第1条及び別記曳家移転料算定要領第1条中「基準細則」とあるのは「運用方針」と、<u>「基準細則」とあるのは「運用方針」と読み替えるものとする。</u></p> <p>(48)～(53) (略)</p> <p>第3条～第13条 (略)</p> <p>(関係官公庁への手続等)</p> <p>第14条 受注者は、用地調査等業務の実施に当たっては、発注者が行う関係官公庁等への手続の際に協力しなければならない。</p> <p>また、受注者は、用地調査等業務を実施するため、関係官公庁等に対する手続が必要な場合には、速やかに行わなければならない。</p> <p>2 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>第15条～第55条 (略)</p> <p>(転写連続地図の作成)</p>

改正後	改正前
<p>第56条 第50条第1項により転写した地図は、各葉を<u>複写</u>して連続させた地図（以下「転写連続図」という。以下同じ。）を作成し、次の事項を記入するものとする。</p>	<p>第56条 第50条第1項により転写した地図は、各葉を<u>転写</u>して連続させた地図（以下「転写連続図」という。以下同じ。）を作成し、次の事項を記入するものとする。</p>
<p>(1)～(3) (略)</p>	<p>(1)～(3) (略)</p>
<p>第57条～第100条 (略)</p>	<p>第57条～第100条 (略)</p>
<p>(移転先の検討)</p>	<p>(移転先の検討)</p>
<p>第101条 (略)</p>	<p>第101条 (略)</p>
<p><u>(1)</u> (略)</p>	<p><u>一</u> (略)</p>
<p><u>(2)</u> (略)</p>	<p><u>二</u> (略)</p>
<p>第102条～第133条 (略)</p>	<p>第102条～第133条 (略)</p>
<p>(敷地使用実態の調査)</p>	<p>(敷地使用実態の調査)</p>
<p>第134条 (略)</p>	<p>第134条 (略)</p>
<p>(1)～(4) (略)</p>	<p>(1)～(4) (略)</p>
<p>(5) (略)</p>	<p>(5) (略)</p>
<p>①、② (略)</p>	<p>①、② (略)</p>
<p>③ <u>営業要領第2条第1項第1号ロ(2)</u>の移転等の対象となる事業</p>	<p>③ <u>第114条第2号②</u>の移転等の対象となる事業所等の製造、加工又</p>
<p>所等の製造、加工又は販売等の主な品目</p>	<p>は販売等の主な品目</p>
<p>(6)、(7) (略)</p>	<p>(6)、(7) (略)</p>
<p>第135条～第153条 (略)</p>	<p>第135条～第153条 (略)</p>
<p><u>(水準測量)</u></p>	<p><u>(新設)</u></p>
<p><u>第154条 地盤変動要領第9条第2項の水準測量は、事前調査及び事後調査時において、既存の基準となる点（公共水準点並びに沈下等の恐れのない堅固な物件）から工事の影響を受けない箇所に任意の点を選点・設置し、その点を基に対象となる建物等基礎の計測を行い、次の各号に掲げる資料を作成するものとする。なお、既存の基準となる点については検測し使用することとし、任意の点の設置及び建物基礎等の計測にあたっては、往復観測するものとする。</u></p>	
<p><u>(1) 観測手簿</u></p>	
<p><u>(2) 計算簿</u></p>	
<p><u>(3) 点の記</u></p>	
<p><u>(4) その他必要と認められる書面及び図面</u></p>	

改正後	改正前
<p><u>2 前項により難い場合は、監督職員の指示により必要な調査を行うものとする。</u></p> <p><u>第155条～第182条</u> (略)</p> <p><u>(完了図書の作成)</u></p> <p><u>第183条</u> (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>①～④ (略)</p> <p><u>⑤ 土地改良施設台帳</u></p> <p><u>⑥</u> (略)</p> <p><u>⑦</u> (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 (略)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>①～④ (略)</p> <p><u>⑤ 土地改良施設台帳</u></p> <p><u>⑥</u> (略)</p> <p><u>⑦</u> (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p><u>第184条～第197条</u> (略)</p>	<p><u>第154条～第181条</u> (略)</p> <p><u>(完了図書の作成)</u></p> <p><u>第182条</u> (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>①～④ (略)</p> <p>(新設)</p> <p><u>⑤</u> (略)</p> <p><u>⑥</u> (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 (略)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>①～④ (略)</p> <p>(新設)</p> <p><u>⑤</u> (略)</p> <p><u>⑥</u> (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p><u>第183条～第196条</u> (略)</p>

改正後	改正前
<p>別記（Ⅱ）価格積算基準 用地調査等業務の価格積算基準 Ⅰ （略） Ⅱ （略） 第1 （略） 1、2 （略） 2－1 （略） (1) （略） (2) 間接測量費 間接測量費は、測量業務を実施するのに必要な直接測量費以外の当該測量業務担当部署における費用であり、登記簿調査、図面トレース等を専門業者に外注する場合に必要な経費を含むものである。 なお、間接測量費は、一般管理費等と合わせて諸経費として計上する。</p>	<p>別記（Ⅱ）価格積算基準 用地調査等業務の価格積算基準 Ⅰ （略） Ⅱ （略） 第1 （略） 1、2 （略） 2－1 （略） (1) （略） (2) 間接測量費 間接測量費は、測量業務を実施するのに必要な直接測量費以外の当該測量業務担当部署における費用であり、登記簿調査、図面トレース等を専門業者に外注する場合に必要な経費、<u>業務実績の登録等に要する費用</u>を含むものである。 なお、間接測量費は、一般管理費等と合わせて諸経費として計上する。</p>